

2022年度（2022年10月入学）

京都薬科大学大学院薬学研究科
薬学専攻

学生募集要項（秋季入学）

博士課程（4年制）

一般入試・社会人入試



京都薬科大学

〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5

入試課 TEL (075) 595-4678

FAX (075) 583-2232

目 次

アドミッション・ポリシー

【薬学専攻博士課程（4年制）】

I	募集人員	1
II	入試日程	1
III	一般入試・社会人入試	
1	募集分野等	1
2	出願資格	2
3	出願手続等	2～3
4	入学者選考方法等	4
5	合格発表	4
6	入学手続	4～5
7	学費等	5
8	奨学金制度	5
9	R・A制度	5
10	転入学について	5
IV	大学院薬学研究科薬学専攻博士課程各科学系および分野等の研究内容一覧	6～7

アドミッション・ポリシー

本専攻は 6 年制学部を基礎とする博士課程であり、薬学の様々な学術分野における高度な専門的学識と独創的な研究能力を有した基礎及び臨床薬学研究者並びに臨床薬剤師の養成を目的としています。また、医薬品開発全般を統括できる人材の養成や専門薬剤師の育成も支援します。このため、薬学関連の学術分野への研究志向をもち、知的好奇心に満ち柔軟な思考能力を有する創造力あふれる学生を求めます。

本専攻は、薬学専攻の特性と社会的要請を考慮し 6 年制薬学卒業者を主な募集対象としますが、薬剤師資格を有する 24 歳以上の旧 4 年制薬学卒業者及び海外の薬学系又は理科系修士課程修了者も対象として国内外に人材を募ります。

薬学専攻博士課程（4年制）（秋季入学）

本専攻では「基礎薬学コース」または「臨床薬学コース」を選択できます。「基礎薬学コース」は、各自が設定した研究テーマを深く探求し、基礎研究者の育成を目指しています。また、「臨床薬学コース」は、大学病院や地域中核病院等と連携し、チーム医療の最前線を経験することで、臨床薬剤師としての専門性を高めることを目標としています。また、本学と独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)とで締結した連携大学院協定をもとに、レギュラトリーサイエンス領域での活発な研究活動および人材育成を目指します。

I 募集人員（一般入試・社会人入試） 10名（夏季募集・冬季募集あわせて）

II 入試日程

出願期間	試験日	合格発表
2022年 7月1日（金） ～ 2022年 7月15日（金）〔必着〕	2022年 8月22日（月）	2022年 8月26日（金） 午後（予定）

III 一般入試・社会人入試

1 募集分野等

(1) 募集科学系および分野等

科学系	分野等
創薬科学系	薬品製造学分野
分析薬科学系	薬品分析学分野 代謝分析学分野
生命薬科学系	衛生化学分野 微生物・感染制御学分野 細胞生物学分野 生化学分野 病態生理学分野
病態薬科学系	病態生化学分野 薬物治療学分野 臨床薬理学分野 薬理学分野 臨床腫瘍学分野
医療薬科学系	薬剤学分野 臨床薬学分野 臨床薬剤疫学分野
統合薬科学系	
薬学教育系	臨床薬学教育研究センター

(2) 協力分野等

科学系	分野
創薬科学系	薬化学分野 薬品化学分野 生薬学分野
分析薬科学系	薬品物理化学分野
附属施設	放射性同位元素研究センター

※協力分野においても研究指導を受けることができる。

2 出願資格

- (1) 大学（6年制薬学部）を卒業した者（2022年9月末日までに卒業見込者を含む）
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学）を修了した者（2022年9月末日までに修了見込者を含む）
- (3) 大学（4年制薬学部）を卒業後、社会人として大学、官公庁、企業又は病院等において2年以上の実務経験を有し、かつ、薬剤師免許を有している者で、本学大学院における入学資格審査において、第1号の者と同等以上の学力があると認めた者
- (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、第1号の者と同等以上の学力があると認めた者

[注1] 出願希望者（他大学出身者、社会人及び外国人留学生を含む）は、出願前に入学後研究指導を受けたい教員に相談すること。

[注2] 出願資格の(2)の資格で出願を希望する者は、当該課程修了の事前確認を行うため、出願前にそのことを証明する書類を入試課に提出すること。

[注3] 出願資格の(3)又は(4)の資格で出願を希望する者は、出願資格の認定審査を行うため、次の書類を入試課に提出すること。認定審査の結果については本人に通知する。

【提出書類】

- ① 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- ② 実務又は研究経験及びその概要（2,000字以内）
- ③ 出身大学の卒業証明書及び成績証明書
- ④ 薬剤師免許の写（出願資格(3)に該当する者のみ）
- ⑤ その他入試課が指示する書類

【認定審査日程】

出願資格の認定申請期限	認定結果の通知期限
2022年 6月 1日(水)まで	2022年 6月24日(金)まで

[注4] 現在、社会人として企業や病院等に在職中の者で、入学後もその勤務を継続する者は、所属長の修学承諾書を出願時に提出すること。

3 出願手続等

- (1) 出願期間

2022年 7月1日(金)～2022年 7月15日(金) [必着]

【持参の場合】受付時間は平日午前9時から午後4時までとする。

- (2) 提出先

〒607-8414

京都市山科区御陵中内町5

京都薬科大学 入試課

TEL：075-595-4678

【郵送の場合】必ず書留郵便とし、封筒の表に「薬学専攻博士課程秋季入学願書」と朱書すること。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願書類等受理後の出願書類等の記載内容についての変更は認めない。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しない。
- ③ 出願書類等に重要事項の記載漏れや虚偽の記載があった場合には、入学後においても入学を取り消すことがある。
- ④ いったん納付した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- ⑤ 疾病又は身体等の障害により、受験時又は入学後に特別な配慮を希望する場合は、出願までに入試課へ相談すること。

(4) 出願書類

入学願書 志願者名票 受験票	本学所定用紙に、必要事項を記入したもの。
成績証明書	他大学出身者のみ提出。当該大学において記載厳封したもの。 P2の「2 出願資格」の(3)又は(4)に該当する出願者は出願時に提出する必要はない。
卒業・修了(見込)証明書	他大学出身者のみ提出。当該大学において記載厳封したもの。 P2の「2 出願資格」の(3)又は(4)に該当する出願者は出願時に提出する必要はない。
写真	ﾀｲﾌﾟ5 cm×ｺﾞｯ4 cm、上半身無帽・正面・無背景で出願前3ヵ月以内に撮影したもの 3枚を入学願書、志願者名票、受験票に貼付けのこと。
卒業論文	卒業論文(写)1部及び卒業論文の要旨(2,000字以内)1部(英文可) 卒業・修了見込者は卒業研究の概要(2,000字以内)1部(英文可) P2の「2 出願資格」の(3)又は(4)に該当する出願者は出願時に提出する必要はない。
入学検定料	入学検定料 25,000円 本学指定の払込用紙を使用し、郵便局に払い込み「振替払込受付証明書」を提出すること。(収納印があるもの) 一旦納入された入学検定料はいかなる理由があっても返還しない 学術交流協定大学の卒業(見込)者の入学検定料については免除する。
修学承諾書	企業や病院等に在職中の者で、入学後もその勤務を継続する場合は、所属長の修学承諾書を提出すること。
宛名ラベル	合格通知、入学手続書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を明記すること。 3連とも記入のこと。
住民票	外国人留学生のみ提出。 在留資格及び在留期間が記載されたもの。 学術交流協定大学の卒業(見込)者は大学長等の正式な推薦状で代用可能(任意)。 その場合は、入学手続時に住民票の提出を求める。

※改姓等の理由により、各証明書等記載の氏名と表記が異なる場合は、証明できる書類を添付すること。

(5) 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載されている個人情報、大学院入試事務・統計及び学籍情報管理のために使用する。

4 入学者選考方法等

(1) 選考方法

薬学専攻に必要な研究能力についての面接により行うものとし、面接における試問は、卒業論文又はそれに相当する研究業績のプレゼンテーションを中心に行う。

本学との学術交流協定に基づく留学生及び日本政府奨学金留学生については、面接・試問を行わず、書類選考のみとする。

(2) 面接・試験日程

日 時	選 考
2022年8月22日(月)13時30分(予定)	面接(プレゼンテーション)

出願後、期日(入試課より別途連絡)までにプレゼンテーションで用いる電子データを入試課へ提出すること。(Microsoft PowerPointで作成すること。なお、プレゼンテーションにはWindowsのパソコンを使用)

(3) 試験場

京都薬科大学

JR東海道本線・京都市営地下鉄東西線 各「山科」駅、京阪京津線「京阪山科」駅から徒歩約8分。

(4) 試験当日の注意事項

① 面接、試問の時刻に遅れないようにすること。

② 台風、降雪、地震、洪水等のやむを得ない事態、その他事故で交通機関が大幅に乱れたときは、入学試験日を変更することがある。変更日は、原則としてその翌日とする。

なお、台風の場合は、その接近により、試験当日午前8時現在で京都府南部全域(もしくは京都・亀岡地区)に「暴風警報」が発令されている場合にこの措置をとる。

最終決定は、本学のホームページ等で通知するので、注意すること。

5 合格発表

2022年8月26日(金) 午後(予定)

合格者には「合格通知書」等を送付する。

6 入学手続

入学試験に合格し入学を希望する者は、期限内に入学手続時納付金を納付し、入学手続書類等を提出すること。期限までに納付並びに提出されないときは、入学資格を失うことになるので注意すること。

入学手続時納付金	金 額	納付・提出期限
入 学 金*	100,000 円	2022年9月9日(金)
授業料(前期分)	350,000 円	2022年9月9日(金)
入学手続書類等	—	2022年9月9日(金)

<上記の入学金・授業料には、消費税は課税されない>

※学術交流協定大学の卒業（見込）者の入学金は免除する。

(注) いったん納付した入学金及び入学手続書類等は、入学を辞退又は入学ができない場合にも返還しない。

7 学費等

(単位：円)

学 年	区 分	前 期	後 期	計 (年額)
1	入 学 金	100,000※ ¹	—	100,000
	授 業 料	350,000※ ¹	350,000	700,000
2	授 業 料	350,000	350,000	700,000
3	授 業 料	350,000	350,000	700,000
4	授 業 料	350,000	350,000	700,000
	論文審査料	—	50,000※ ²	50,000

(注) ※¹：入学手続時に納付 ※²：論文審査時に納付

なお、修了までに経済情勢等に変動がある場合には、授業料等を変更することがある。

【私費外国人留学生授業料減免制度】

京都薬科大学私費外国人留学生授業料減免取扱要綱に基づき、授業料の減免（授業料の半額）を希望する者は、合格通知の受領日から入学手続期限までに、所定の授業料減免申請書を国際交流推進室に提出すること。詳細については、合格通知書送付時の書類で通知する。

8 奨学金制度

本学大学院では、選考により日本学生支援機構奨学金又は本学奨学金(貸与型:年額700,000円以内、給付型:入試成績優秀者に対し、入学年度の半期授業料相当分)を受け取ることができる。

【外国人留学生奨学金（国費外国人留学生を除く）】

学力及び人物ともに優れ、かつ、経済的な理由により修学困難で勉学意欲の強い外国人留学生について、京都薬科大学外国人留学生奨学金規程に基づき国際交流推進室に申請し、審査を経て決定した場合には、月額3万円の奨学金の給付を受けることができる。

(詳細は事務局国際交流推進室まで)

9 R・A制度

本学大学院では、リサーチ・アシスタント(R・A)に委嘱され、手当が支給される。

R・Aは年額約1,200,000円である。(詳細は事務局庶務課まで)

10 転入学について

本学大学院学則第22条の2及び第22条の3の規定に基づき、欠員のある場合に限り、本学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程への転入学を受け入れることがある。転入学を希望する場合は、予め本学入試課まで連絡すること。

IV 大学院薬学研究科薬学専攻博士課程各科学系および分野等の研究内容一覧

科学系	分野等	指導教員*	主な研究内容*
創薬科学系	薬品製造学	教授 南部 寿則 准教授 小島 直人	○生物活性天然物およびその誘導体の全合成と構造活性相関研究 ○有用化合物の効率的合成法の開発研究 ○薬学および合成化学的に有用な機能性分子の開発と応用研究
分析薬科学系	薬品分析学	教授 武上 茂彦	○ナノ粒子を用いた超高感度電気化学発光法の開発研究 ○疾患診断のための脂質ナノ粒子発光デバイスの開発研究 ○臨床化学分析用電位検出型センサーの開発研究
	代謝分析学	教授 安井 裕之 准教授 木村 寛之	○バイオメタルと病態の連関を分析する疾患メタロミクス研究 ○糖尿病・がん・IBD・皮膚疾患を改善するメタロミクス創薬研究 ○病態解明・創薬研究を目指したセラノスティクス研究
生命薬科学系	衛生化学	教授 長澤 一樹 准教授 高山 健太郎	○うつ病や薬剤によって誘発される味覚障害分子機構の解明 ○生体由来ペプチドによる内分泌・代謝疾患の予防と克服 ○神経・精神疾患における生理活性脂質の役割の解明
	微生物・感染制御学	教授 八尋 錦之助	○細菌毒素の宿主障害機構に関する研究 ○細菌感染モデルマウスによる病態発症機構に関する研究 ○薬剤耐性菌に関する分子生物学的解析
	細胞生物学	教授 藤室 雅弘	○細胞内翻訳後修飾とタンパク質分解機構 ○発がん、免疫、神経再生に関わる細胞内シグナル伝達機構 ○カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスの生活環と病原性
	生化学	教授 中山 祐治	○細胞周期、細胞分裂制御機構 ○分子シャペロンによる細胞機能制御機構 ○細胞機能制御の破綻と細胞がん化に関する研究
	病態生理学	教授 芦原 英司 准教授 細木 誠之	○悪性腫瘍に対する新規分子標的治療薬・細胞療法の開発研究 ○気道粘液線毛クリアランス活性化機構の探究と治療応用 ○組織内微小環境におけるエクソソームの役割と治療応用
病態薬科学系	病態生化学	教授 秋葉 聡 准教授 石原 慶一	○非アルコール性脂肪肝炎の発症分子機構に関する研究 ○ダウン症候群の精神発達遅滞の発症分子機構に関する研究 ○認知症における記憶形成障害の発症分子機構に関する研究
	薬物治療学	教授 加藤 伸一 准教授 松本 健次郎	○難治性消化管疾患の病態解明および予防・治療法の探索 ○消化管における炎症・免疫応答の制御機構の解明 ○消化管粘膜防御機構の実態解明
	臨床薬理学	教授 中田 徹男 ^(※1) 准教授 小原 幸	○脳心腎連関、メタボリック症候群のエコファーマの基礎研究 ○ミトコンドリアの酸化ストレス制御を介した心筋保護の検討 ○生活習慣病治療薬の有する多面的な抗動脈硬化作用の検討
	薬理学	教授 田中 智之 准教授 藤井 正徳	○炎症応答に関する薬理学的研究 ○マスト細胞を標的とした医薬品評価系の開発 ○アトピー性皮膚炎の痒みおよび皮膚バリア異常に関する研究

科 学 系	分 野 等	指 導 教 員*	主 な 研 究 内 容*
病態薬科学系	臨床腫瘍学	准教授 中田 晋	<ul style="list-style-type: none"> ○がん幹細胞を攻撃するための治療標的分子の探索と創薬研究 ○がん細胞の増殖および細胞死機構の解明 ○新規標的分子 GGCT 機能解析と代謝経路を標的とした創薬
医療薬科学系	薬 剤 学	教授 山本 昌 ^(※2) 准教授 勝見 英正	<ul style="list-style-type: none"> ○難吸収性薬物の消化管及び経粘膜吸収性の改善 ○腎臓または骨疾患を対象としたDDS 開発 ○細胞膜外小胞の機能解明と疾患治療を目的としたDDS 開発
	臨床薬学	教授 西口 工司	<ul style="list-style-type: none"> ○抗がん剤の適正使用に関する研究 ○病態・食習慣に着目した薬物動態の個人差に関する研究 ○医薬品の適正使用へのエビデンス付加を目指した研究
	臨床薬剤疫学	教授 村木 優一	<ul style="list-style-type: none"> ○リアルワールドデータを用いた適正使用の評価法の確立 ○薬剤師の介入の評価及び薬物療法の薬効・副作用の要因分析 ○薬物療法への介入が医療や使用動向に及ぼす影響の評価
統合薬科学系		教授 高田 和幸	<ul style="list-style-type: none"> ○神経変性疾患に対する再生医療研究と創薬研究 ○脳内免疫の制御による脳疾患治療法の開発 ○幹細胞を用いた難治性疾患の新規治療戦略の開発
薬学教育系	臨床薬学教育研究センター	教授 矢野 義孝	<ul style="list-style-type: none"> ○患者報告アウトカムの臨床的応用と統計的評価に関する研究 ○数理モデルによる疫学研究・薬剤経済学の臨床医薬品評価 ○カルテ情報の統計的評価に基づく薬物療法時の臨床研究

*各分野等の指導教員及び研究内容は、2022年5月1日現在のものである。

[在学期間：2022年10月～2026年9月]

<在学期間中に退職となる教授>

※1：2023年3月末日退職予定：中田教授

※2：2023年3月末日退職予定：山本教授

2022年5月 京都薬科大学大学院薬学研究科